

都市再生整備計画事後評価シート(案)  
郡山中央地区

平成22年12月

鹿児島県鹿児島市



様式2-1 評価結果のまとめ

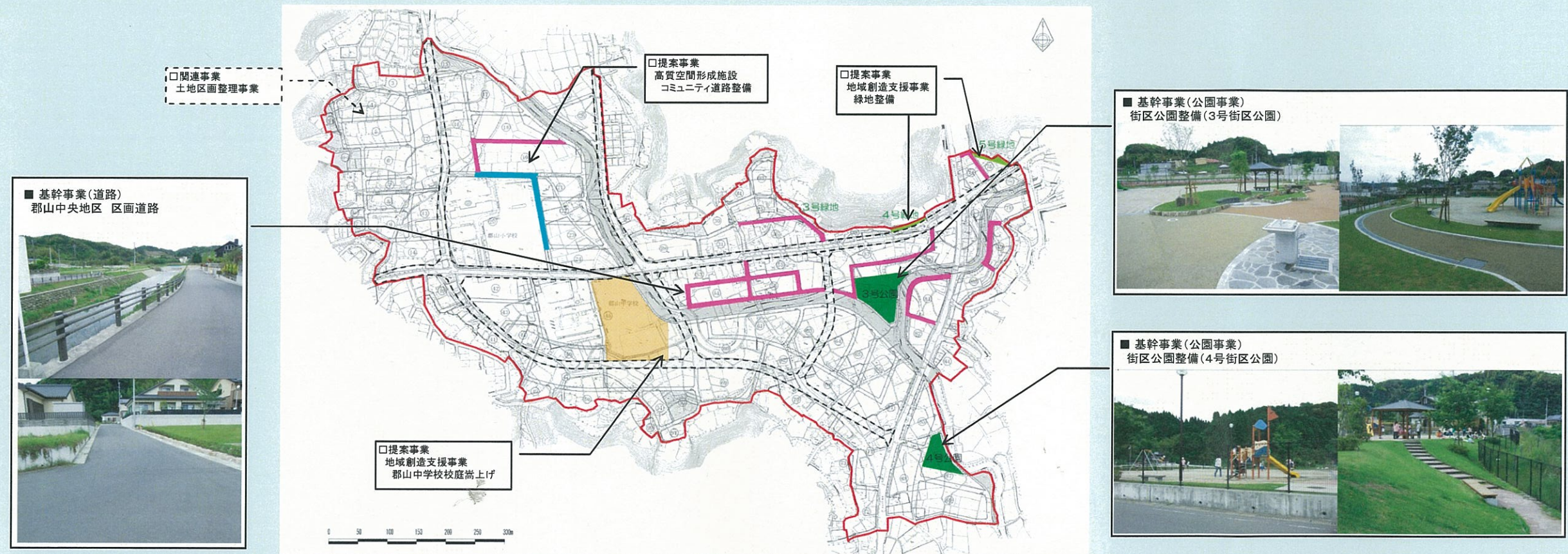
都道府県名	鹿児島県		市町村名	鹿児島市		地区名	郡山中央地区			面積	46.4ha		
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	766.3百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(区画道路11路線)、公園(街区3号公園、4号公園)、高質空間形成施設事業(緑化施設等)										
		提案事業	地域創造支援事業(中学校校庭地盤嵩上げ、緑地整備)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(区画道路3路線)、地域生活基盤施設(ポケットパーク、情報掲示板)、高質空間形成施設事業(歩行者支援施設、障害者誘導施設等)	削除/追加の理由			計画地周辺に位置する遺跡の発掘調査に長期間を要することが判明し、事業期間内での整備が困難となったことに伴う削減や設計の見直しに伴う変更。						
		提案事業	なし	-			他の事業において満足度等を向上できる可能性があるため、まちづくり目標及び数値目標は据え置く。						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	-			-						
		提案事業	なし	-			-						
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	区域内人口	人	830	H17	860	H22	-	862	○	あり	区画道路や街区公園の整備及び関連事業である土地区画整理事業によって、安全で快適な居住環境の形成の効果が発現し、区域内人口が増加してきている。	平成23年6月
	指標2	通学路歩道整備率	%	21	H17	56	H22	-	47	△	あり	区画道路等の整備によって、住民の「歩行者の安全性」に対する満足度は確実に向上している。しかし、関連事業である土地区画整理事業や県による二級河川甲突川の改修事業の進捗の遅れにより、目標値には達していない。	平成23年6月
	指標3	中心部の環境に対する満足度	ポイント	2.9	H16	3.5	H22	-	3.9	○	あり	区画道路の整備や住民参加プロセスを実施した街区公園整備等による効果が発現し、住民の中心部の環境に対する満足度が向上してきている。	平成23年7月
	指標4										あり		
	指標5										なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	まちの中心部への転居者数	人	30	H17				41		あり	区画道路や街区公園の整備及び関連事業である土地区画整理事業によって、安全で快適な居住環境の形成の効果が発現し、中心部への転居者数が増加してきている。	平成23年6月
	その他の数値指標2	安全・安心に対する「まち」の満足度	ポイント	3.0	H16				4.2		あり	区画道路や歩道整備及び緑地整備により、緊急車両の通行や歩行者に対する安全性及び防災面に対する安全性が高まったことによって、住民の安全・安心なまちに対する満足度が向上してきている。	平成23年7月
	その他の数値指標3										なし		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規住宅の建築に伴う合併処理浄化槽の設置・普及により、公共用水域の水質保全等、住民の環境に関する意識の向上にも効果が出ている。</li> <li>区画道路の整備により、従前より消防・救急活動が円滑になり、住民の安全・安心度が向上した。</li> <li>多くの住民が、事業による「まちの活性化」を肌で感じているとともに、今後のまちづくりの推進に対する期待感が高まっている。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等								
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	公園整備にあたっての住民アンケートの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 地域住民による「清掃ボランティア」等の体制づくりについての検討。								
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											



## 様式2-2 地区の概要

### 郡山中央地区(鹿児島県鹿児島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標 水とみどりがあふれ、安全で安心なふるさとの再生 目標1 豊かな水や緑を活かした安全で快適な住環境を形成し、定住人口の増加を目指す。 目標2 郡山地域の拠点となる良好な景観を備えた街並み形成により、中心部の魅力向上を目指す。 目標3 地域特有の資源を活用しながら、住民自身が魅力を感じることでできる環境整備を進める。	区域内人口	単位:人	830	H17	860	H22	862	H22
	通学路歩道整備率	単位:%	21	H17	56	H22	47	H22
	中心部の環境に対する満足度	単位:ポイント	2.9	H16	3.5	H22	3.9	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画道路の整備や街区公園の整備及び関連事業である土地区画整理事業の推進によって、安全で快適な居住環境が形成されてきており、区域外からの転居者数が増加するなど人口集積が図られてきている。</li> <li>景観に配慮した街区公園整備等によって、良好な景観が形成されてきており、景観に対する住民の満足度も高まっている。</li> <li>湧水を利用した親水施設を備えた街区公園の整備や県施行の二級河川甲突川の改修における環境に配慮した護岸整備により、地域の特徴である豊かな水を身近に感じることでできる環境整備が図られてきている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路等の公共施設の整備を推進し、良好な居住環境の更なる創出を図る。</li> <li>本市における『景観計画』を周知し、地域住民と行政の協働による良好な街並み景観形成を図る。</li> <li>水や史跡等の地域資源の更なる活用を検討するとともに、伝統行事の活性化により、住民自身が魅力を感じることができるようなまちづくりを図る。</li> </ul>